

軌跡

農大三中・三高 中高一貫コース新聞

◇「実学」始まる！体験から学ぶ第一歩

今年度も中高一貫コースの取り組み「実学」がスタートしました。中学1年生は、味噌づくりにつながるダイズ栽培に取り組み、種まきから約1か月で10センチほどまで成長しています。中学2年生はヒラメの養殖を始め、5月に稚魚を受け入れました。また、昨年度から熟成させていた味噌も完成し、それぞれの家庭へ持ち帰りました。生徒たちは実際に育て、観察し、味わう体験を通して、生き物や食への理解を深めています。各学年が異なるテーマに取り組む「実学」。お互いの活動に関心をもちながら、学年を超えて学び合っていきましょう。



◇今につながる歩み～先輩たちの軌跡～ 中学9期・高校36期生から中高一貫生へ



北海道大学 農学部 畜産科学科
教育実習生 鰐淵 瑛梨さん

①中学生時代に力を入れたこと

高い目標を立てる練習を頑張りました。チャレンジがとても苦手で、検定の上の方の級などもあまり挑戦しなかったのですが、先生に励まされながら徐々に目標を高めていき、今では苦手意識もずいぶん減りました。

②高校生時代に力を入れたこと

部活を最後までやり切り、その上で志望校に合格することを目標にしていました。吹奏楽部に所属していたので夏ごろまで部活をやっており、しんどい瞬間もありました。しかし、大好きな友達や先生に支えられながら第一志望に合格することが出来ました。

③大学生活

今は農学部の畜産科学科に所属しており、日々の動物の世話や扱い方の勉強、研究の調べなどを頑張っています。求められるレベルは高いですが、畜産学を学ぶのにはこれ以上ないくらい良い環境にいるので毎日充実しています！




東京農業大学 農学部 生物資源開発学科
教育実習生 川上 真羽さん

中学生の頃は、全ての科目に力を入れて学習しました。主要5教科だけでなく、副教科にも積極的に取り組むように心掛けました。その結果、全科目の平均点が80点近くまで上がり、順位も向上！学習意欲が高まるという相乗効果で、勉強が楽しくなりました。

陸上部に所属し、週6日の練習を3年間一日も休まず続けました。大きな記録更新はできませんでしたが、どんな天候や苦境でも諦めず、最後まで練習に取り組みました。この地道な努力を積み重ねた経験で得た忍耐力と精神力は、私の最大の誇りであり、今後の人生の支えになると考えています。

大学2年生のときにサークルを立ち上げ、仲間と一緒に活動を広げてきました。意見の違いで悩むこともありましたが、話し合いを重ねながらより良い運営を目指しました。大学では、自分のアイデアを実際に形にできるだけでなく、多くの仲間と出会いながら新しい挑戦を楽しめることが魅力だと感じています。

ミニコーナー

「みんなはどう食べた？」 ・お味噌汁(圧倒的!) ・おにぎり ・バーニャカウダ(おいしそう!) ・そのまま
 🍲:ダイズの食感が残っていておいしかった! 香りがとても良い! 手作りだから今までで一番おいしかった!

不屈

農大三高 I コース新聞



I コース集会の様子

I コース担任団からのアドバイス

●夏休みに向けて

【3年2組担任 阿部先生】

1・2年生は、**学習や生活の土台を整え、自分の可能性を広げる夏にしてください。**そして3年生は、自分一人で抱え込みすぎないことも大切です。夏休みは先生や仲間と話す時間が減り、不安や焦りの中で現在地を見失いそうになることもあります。だからこそ、**意識して人と話し、自分の考えを言葉にしてください。**

●志望校の決め方

【2年1組担任 中村先生】

志望校は複数の大学を比較して決定していきますが、重要なのは**自分が譲れない点(基準)を決める**ことです。良い基準、悪い基準はありません。偏差値、専門性、立地などなど、自分が「これだ!」と思うものをつくってください。そして、もう一つ重要なのは**実際に大学を訪問**することです。HP やパンフレットは、コマーシャルの要素が強いので良い部分が誇張されている場合があります。オープンキャンパスに参加して、自分の五感で実際の大学を感じてください。

●おススメの学習法

【1年1組担任 山崎先生】

学力を伸ばすには、**毎日机に向かう習慣をつけることが大切です。**図書室や自習室を活用し、時間を決めて集中して学習しましょう。ノートは「**授業内容を記録するため**」だけでなく、「**復習のための教材**」として作ることが大切です。見出しや日付を書く習慣をつけ、重要語句や公式には印を付けましょう。また、間違えた問題や苦手な内容をまとめる欄を設けると、テスト前に効率的に復習が出来ます。

難関大学に合格した先輩へのインタビュー

高1・高2・高3生への英語の学習アドバイス

36期生 I コース 島田先輩

《明治大学国際日本学部現役合格》

今回は教育実習にきている36期生の島田先輩にインタビューを行いました。高校時代に英検準1級を取得した島田先輩に、英語学習の極意を聞きます!

●高1の時に取り組んだこと

英語学習のモチベーションは、英文を読んだり聞いたりした時の「わかる!」の経験です。必要なのは単語力だと思い、**高1では英単語の学習に力を注ぎました。**学校から配布された単語帳を全て完璧にしました。文法も学校から配布されたものを授業の進みに合わせて確認しながら学習していました。好きな映画を英語音声英語字幕で見るのもおすすめです。

●高2の時に取り組んだこと

速読を意識しました。参考書は音声付きの長文であればなんでもOKです。**シャドーイングをすることが大事です。**一冊でリーディングとリスニング、スピーキングを鍛

えました。英単語は1冊目が完璧になったら、少し厚めのものを使いましょう。英文法も、一つ上の難易度のものを使い、知識を定着させましょう。

●高3の時に取り組んだこと

高3までに文法は完璧にしておきましょう。単語は増やしつつ、**持っている単語帳の復習を徹底**します。ライティングは、英語の先生に添削してもらいました。赤本は志望する大学の問題はもちろん、他の学部、さらには同難易度の他大学の問題を試してみましょう。共通テストの練習問題も確認します。その中で、わからなかった単語や文法はノートにまとめて復習します。**3年ではとにかく実践と復習を意識**します。

●大学生生活ってこんな感じ!

大学は自分のしたいことをするための場所です。僕は、ハワイに留学しました。自由な時間が増えるからこそ、自分で選び、挑戦し、成長できます。新しい出会いや経験が自分の世界を広げてくれます。

探 究

農大三高Ⅱコース新聞



進路報告会の様子

1 学期の行事をプレイバック！

●進路報告会●

来校してくれた卒業生は横田菜月さん（Ⅰコース）、栗本真生さん（一貫コース）、鈴木陽翔さん（Ⅱコース）、江原悠太さん（Ⅲコース）さん、鰐淵瑛梨さん（一貫コース 36期生）です。高校生活の中で勉強と部活動を両立したこと、お世話になった先生方のごこと、受験校の選び方など多岐にわたってお話してくれました。さらに現在は大学でどのような授業を受けているのか、サークルなどに所属して楽しい毎日を送っている様子をお話してくれました。

なかでも鈴木陽翔さんはⅡコースで強化部であるサッカー部に所属しながらも、宇都宮大学に合格し、充実した生活を送っていることを生き生きと話してくれました。鈴木さんは、農大を併願して宇都宮大学を受けたそうですが、**農大は専門性が高い一方で、自分には基礎力が足りないことを痛感し、まずは基本から学べる宇都宮大学を希望した学べる宇都宮大学を**

希望したとのことでした。またサッカー部は引退が遅いため、引退してからわずか1週間で入学試験に臨まなくてはならなかったため、**いかに部活動と両立しながら受験対策を行っていたのかが興味深いお話**でした。文武両道を掲げるⅡコースのみならず、**非常にためになるお話**だったのではないのでしょうか。

●体育祭●

先日行われた体育祭では、Ⅱコースの生徒たちが各学年で素晴らしい活躍を見せてくれました。結果は、**1 学年が優勝(11組)・準優勝(10組)、2 学年が3位(10組)、3 学年が優勝(10組)・準優勝(8組)**と、どの学年も上位を占める素晴らしい成績を収めました。

体育祭で発揮した「目標に向かって努力する力」「仲間と協力する力」「最後までやり抜く力」は、学習や進路実現にもつながる大切な力です。この勢いを今後の学校生活にも生かし、Ⅱコース全体でさらに成長していきましょう。

●教育実習生からのアドバイス●

5/25～6/13 に教育実習を行ったⅡコース出身の先輩方（36期生）から、後輩たちへ向けたメッセージをいただきました。高校時代の思い出や高校生活を充実させるためのアドバイスが寄せられています。ぜひ今後の学校生活の参考にしてください。

(栗原先生／世界史・武蔵大学)

・部活動も勉強も忙しいと思いますが、熱中できるものを探してぜひ取り組んでほしいです！

(西松先生／保健体育・東洋大学)

・高校生活のうちに、どん底まで落ちる失敗経験とそこから這い上がる成功体験をしておくよと思います。

(藤先生／国語・國學院大学)

・3年次の文化祭で焼きそばを出店しました。クラスメイトと協力して店番をするなど思い出が多くあります。準備から片付けまで楽しかったです。飛ぶように売れたことも良い思い出です。

(村松先生／国語・國學院大学)

・部活動は弓道部に所属し、日々練習に取り組みました。何か一つのことでもよいので、集中して熱中できるものを見つけ、打ち込んでほしいと思います。



★6/14 生徒主催オープンスクールより

信頼

農大三高Ⅲコース新聞

Ⅲコースクラス紹介 (1年14組・15組、2年12組・13組、3年11組・12組)

各クラスの委員長にクラスの雰囲気などを紹介してもらいました。

1年14組 クラス委員長 大草礼音さん

(サッカー部)

私たちⅢコースは、部活動に全力で取り組む仲間が集まるクラスです。明るく元気な人が多く、毎日活気にあふれています。その一方で、授業や学校生活にも真剣に取り組む、文武両道を目指しています。時には競い合い、時には支え合いながら、仲間と共に成長できることがこのクラスの強みです。全員で切磋琢磨しながら最高のクラスを作っていきます。

1年15組 クラス委員長 吉岡冬馬さん

(男子バレーボール部)

私たちⅢコースは部活動に明け暮れる日々を送りながら学業に励んでいます。クラスの雰囲気は行事に対して積極的に取り組むなど、常に明るいのです。時には授業に集中できない状況になってしまうことがあるため、メリハリをつけられるようにしていきたいです。

2年12組 クラス委員長 藍川恵多さん

(野球部)

私たちⅢコース2年12組は「文武両道」を掲げ、それぞれの部活の目標に向かって頑張っています。クラスのメンバーは去年と変わらないため団結力は他のクラスに負けません。朝勉強の時間もみんな声かけあって勉強をする環境を整えています。今後も一人ひとりが自分らしさを大切に、勉強と部活動の両立をできるよう精進していきます。

2年13組 クラス委員長 樋口天真さん

(野球部)

2年13組は、全員気が明るくにぎやかなクラスですが、集中する場面や体育祭などの学校行事には、切り替えて団結できる力を持っています。この力は全員が運動部に所属していることによってうまれるⅢコースならではの強みだと思います。この強みを活かして、全てにおいて全力で取り組み、何事も一番高いレベルを求めるクラスを目指して、最高のクラスメイトと最高の一年にしていきたいです。

3年11組 クラス委員長 手塚琳太郎さん

(野球部)

私たちのクラスは、授業では一人一人が集中してうけていて、進路やロングホームルームでは、意見をかわしたりしています。クラスの良いところは、男女の仲が良く勉強に熱心な所です。あとは3年間クラスの人々がほぼ変わらず、体育祭では2年連続クラス優勝を果たすことができました。現在は進路を決める上で大切な一学期の期末テストに向けてクラス全員が部活と勉強を両立しながら日々精進しています。クラスの目標は、2年生のときの「目標を定める」から3年生では「目標の実現」になりました。進路を決定するために日々頑張っています

3年12組 クラス委員長 畑 真守さん

(野球部)

私たちのクラスは文武両道を掲げて、日々学校生活に励んでいます。クラス全体として「クラブ活動に集中できる環境を整える」ということを昨年から意識して生活をしています。クラスの特徴は、メリハリがあるところです。体育祭や浪漫祭、球技大会などの行事はとことん楽しみ、授業など集中するところは集中するなど、部活動で身につけたことを活かしています。現在、進路に大きく関わる大事なテストに向けて一人ひとりが頑張っています。

『スポーツ科学』の授業とは？

《スポーツ科学》はⅢコース独自のカリキュラムです。授業の内容を2・3年生に紹介してもらいました。

3年11組 梅田心さん (剣道部)

Ⅲコースのスポーツ科学では週2回の授業を通して、所属している部活動でどのようにパフォーマンスを高めていくのか、メンタルや栄養などの面からアプローチし実践しています。例えばメンタルの状態とパフォーマンスの関係を表す『逆U字曲線』を利用して、適度な緊張が最高のパフォーマンスを生むという法則を学びました。緊張は誰もがすることだからこそ、その緊張をどう味方につけるのか学んだことで、本番を恐れずに挑む強い自信に繋がりました。

2年12組 栗田 琉翔 (陸上競技部)

2年次から新たに学ぶ『スポーツ科学』では、部活動をより有意義なものにするための知識や考え方を学ぶことができます。今は、筋肉やトレーニングについて学んでいます。例えば、瞬発力を鍛えるトレーニングを行うと速筋繊維が発達し、短距離をより速く走れるようになります。また、長距離走のトレーニングを行うと、毛細血管が増え、長距離走の能力が向上します。まだ基礎的な内容しか学んでいませんが、これからはより専門的な知識を学び、部活動に活かしていきたいです。

教育実習生より一言

Ⅲコース出身の教育実習生より、現役のⅢコースの生徒に向けてのアドバイスを頂きました。

瀧澤 輝先生 公民 (剣道部)

私は剣道部に所属していました。部活動はとても厳しくほぼ毎日練習がありました。大変なことや苦しいこともたくさんありましたが、仲間と支えあいが最後まで続けることができました。勉強面では、帰宅した後に必ず勉強することを心がけていました。思うように続かなかった日もありましたが、少しずつでも継続することを大切にしていました。皆さんには凡事徹底を意識してほしいと思います。当たり前のことを当たり前続けることは、簡単に見えて実はとても難しいです。しかし、その積み重ねが大きな成長につながると思います。

萩原 綸太郎先生 生物 (野球部)

私は在学中、野球部に所属していました。高校生活では、毎日部活動に打ち込み、仲間と支えあい、互いに高めあいが多く経験のすることができました。練習や大会を通して、日々の積み重ねの大切さや、最後まで諦めずに努力を続ける姿勢を学びました。高校生活で特に大変だったことは、部活動と勉強の両立です。限られた時間を有効に使うため、登下校の時間を利用して予習や復習に取り組みました。高校生活を振り返るとあっという間でした。後輩の皆さんも、一日一日を大切に、クラスメイトやチームメイトとの時間を楽しみながら、何事にも全力で取り組み充実した高校生活を送ってください。好きな言葉は「一期一会」です。